



市民の誓い 私たちは 水を生かし 緑を広げ 安全に努め 心を育て 助け合います

<人口>	
男	78,002 (+36)
女	81,372 (-51)
計	159,374 (-15)
<世帯数>	
	68,837 (+24)
10月1日現在 ()は前月比	

「十万石まつり」3年ぶりに 秋の城下町をにぎやかに彩る

「十万石まつり」が10月9日、大垣駅通り一帯で行われました。コロナ禍で3年ぶりの開催です。

このまつりは、大垣藩十万石の歴代藩主をまつる常葉神社の例祭が起源。少年団体によるパレードや火縄銃の演武、民踊披露などが繰り広げられ、勇壮なみこし行列も登場して、秋の城下町をにぎやかに彩りました。



パレード

威勢よく担がれたみこし行列

新型コロナウイルス ワクチン接種のお知らせ

▶前回接種から「3か月」で、オミクロン株対応ワクチンを接種できます

国は、新型コロナウイルスのオミクロン株対応ワクチンの接種可能時期について、前回接種から「5か月以上」としていた接種間隔を「3か月以上」に短縮しました。

これにより、前回の接種が9月末までに済んでいる人は、年内にオミクロン株対応ワクチンを接種することができます。

感染再拡大を阻止するためにも、接種可能なタイミングで、早めの接種をお願いします。

▶集団接種でもファイザー社ワクチンを使用

オミクロン株対応ワクチンのファイザー社B A.4/5対応型が国から追加供給されます。

このため、集団接種で使用しているモデルナ社B A.1対応型を、個別接種と同じファイザー社B A.4/5対応型に、11月5日から切り替えます。

▶1・2回目の接種も受け付けています

オミクロン株対応ワクチンの接種は、1・2回目の接種を完了した12歳以上の人が対象です。

オミクロン株対応ワクチンの接種を希望する人で、1・2回目が未接種の人は、市コールセンターへご連絡ください。

▶乳幼児の接種が始まります

6か月～4歳の新型コロナウイルスワクチン接種が、11月上旬から始まります。

接種するワクチンは、ファイザー社の乳幼児用で、3回の接種が必要です。1回目を接種してから3週間後に2回目、2回目を接種してから8週間後に3回目を行います。

接種を希望する人は、接種券が届き次第、同封の案内書を確認のうえ、予約してください。

市コールセンター

☎47-6101

8:30～17:15

(土・日・祝日も開設)



特設サイト

11月は児童虐待防止推進月間

推進標語

「もしかして？」
ためらわないで！
189(いちはやく)

虐待を受けていると思われる子どもを見かけたときや、出産・子育てなどに悩んだときは、すぐに次の窓口にご相談ください。

◇児童相談所全国共通ダイヤル
(☎189※いちはやく)

24時間対応

◇西濃子ども相談センター
(☎78-4838)

平日 8:30～17:15

◇子育てなんでも相談
(☎0800-200-7114)

9:15～18:00

◇子育て支援課
(☎47-7092)

平日 8:30～17:15

◀児童虐待防止シンボルマーク
「オレンジリボン」



11月1日号 主な内容

- ▶価格高騰緊急支援給付金を支給、二十歳を祝う会、ごみ収集の休業、危険業務従事者叙勲受章者紹介など …2～3 P
- ▶市職員を随時募集、市美術展一般の部上位入賞紹介、移住・定住を支援、秋の全国火災予防運動など …4～5 P
- ▶講座・催しのお知らせなど …6～7 P
- ▶子育て講座、赤坂宿まつり、すのまた秀吉出世まつり、市民伝言板など…8～9 P
- ▶健康ガイド …10～11 P
- ▶キャッシュレス決済ポイント還元キャンペーン、秋の芭蕉祭、シン・ハツラツ市、きもの園遊会など …12 P

ICT×見守り 見守りシールで早期発見・保護！

～認知症の人のひとり歩きを地域で見守る～

市は、認知症のため行方不明になる可能性のある人に、衣服などに貼る「見守りシール」を交付しています。

見守りシールにはQRコードが印刷されており、スマートフォンなどで読み取ると、インターネットを通じて、シールを付けている人の家族と連絡を取ることができます。

「見守りシール」を付けた人が
困っている様子なら

見守りシールを付けた人が困っている様子を見かけたら、正面からやさしく声をかけ、自宅に帰ることができずに困っている場合は、QRコードを読み取って、表示される画面から所在地などをお知らせください。

認知症でひとり歩きしている人への
「声かけ訓練」を市がサポート！

認知症によるひとり歩きが不慮の事故につながることもあります。家族だけで見守ることは難しいため、地域の皆さんのご協力が必要です。

ひとり歩きしている人を見かけた時に声かけができるように、地域で模擬訓練を実施していただける場合、市が訓練をサポートします。認知症を正しく理解して、適切に対応できるように、地域での訓練実施をご検討ください。

詳しくは、高齢福祉課
(☎47-7416) へ。

